



## 過去の講座・シンポジウム一覧

日程・場所	テーマ	講師
2016年		
◆ソーシャルワーク講座・第17期		
6月26日	テーマ③「学校の中で、今、何が起きているのか」 ～2015年12月広島県府中市中3男子自殺、2015年7月岩手県矢巾町中2自殺に共通する学校の構造	芹沢 俊介(思想家)
	テーマ④「『愛に疎まれて』-養育論として事件を読み解く」～秋葉原無差別殺傷事件は何故起きたのか～	芹沢 俊介(思想家)
6月11日	テーマ①「子どもが育つ上で大切なこと」	奥山 眞紀子(成育医療研究センター特命副院長)
	テーマ②「精神科医の立場から精神鑑定や少年法を考える」～板橋事件・石巻事件、他～	高岡 健(児童精神科医)
公開シンポジウム		
5月21日	公開シンポジウム「'97少年A事件と『絶歌』から学ぶ」	芹沢俊介、高岡健、寺出壽美子
◆ソーシャルワーク講座・第16期		
2月7日	テーマ③「子ども・若者を支援する人々へのメッセージ」～不登校・ひきこもり・少年事件等～	寺出 壽美子(ソーシャルワーカー)
	テーマ④「'97少年A事件と『絶歌』から学ぶべきこと」～酒鬼薔薇聖斗事件～	高岡 健(児童精神科医)
1月23日	テーマ①「川崎市中1男子殺害事件、大阪寝屋川市男子女子殺害事件、岩手県矢巾町中2男子いじめ自殺」	芹沢 俊介(思想家)
	テーマ②「光市母子殺害事件等」～弁護士の立場からみえてくる少年事件と少年～	安田 好弘(弁護士)
2015年		
◆ソーシャルワーク講座・第15期		
10月3日(土)	テーマ③「自覚のない児童虐待とひきこもり・少年事件」～追い立てられる親と彷徨う若者～	寺出 壽美子(ソーシャルワーカー)
	テーマ④「精神科医が語る、子どもの自殺と大人の自殺」～2015.7 岩手県矢巾町中学2年男子自殺他から～	高岡 健(児童精神科医)
9月12日(土)	テーマ①「批判殺到の少年A手記『絶歌』から私たちが学ぶべきこと」～酒鬼薔薇聖斗事件～	芹沢 俊介(社会評論家)
	テーマ②「石川憲彦さんの実際の治療を聞いてみよう」～パニック障害・強迫神経症編～	石川 憲彦(児童精神科医)
公開シンポジウム		
5月23日(土)	公開シンポジウム「佐世保女子高生殺害事件の真相を探る」	芹沢俊介、高岡健、寺出壽美子
◆ソーシャルワーク講座・第14期		
6月21日(日)	テーマ③「石川憲彦さんの実際の『治療』を聞いてみよう～うつ病編～」	石川憲彦(児童精神科医)
	テーマ④「自閉症スペクトラム・AD/HDの現在(いま)～子どもや青年たちへの真のサポートとは何か～」	関 正樹(児童精神科医)
5月17日(日)	テーマ①「少年の暴力をどう考えるか～非行少年たちとの関わりの中で～」	寺出 壽美子(ソーシャルワーカー)
	テーマ②「川崎市中1男子殺害事件～「ある」が内在化されない子どもたち～」	芹沢 俊介(社会評論家)
◆ソーシャルワーク講座・第13期		
2月21日(土)	テーマ③「面接・電話相談を学ぼう！」～いじめ、不登校ひきこもり、発達障がい、親子の確執etc～	寺出 壽美子(ソーシャルワーカー)
	テーマ④「21世紀少年事件論」～『関係の貧困』から読み解く～	高岡 健(児童精神科医)
1月25日(日)	テーマ①「なぜ、母はつらいのか」～貧困の時代の子育てとイクメンブームの落とし穴・他～	石川 憲彦(児童精神科医)
	テーマ②「滅びの明るさを生きるわたしたちへ」～太宰治文学を通して考える～	芹沢 俊介(社会評論家)

2014年		
◆ソーシャルワーク講座・第12期 「精神医学のカルテ」		
10月29日(水)	テーマ① 「パニックや不安をどう考えればいいのか～クリニックでの臨床現場から～」	石川 憲彦(児童精神科医)
10月4日(土)	テーマ③ 「新しいうつ病をどう考えていくのか～非定型化とはなにか～」	滝川 一廣(児童精神科医)
	テーマ④ 「人格障害論の実像～『境界例化』と『脱境界例化』～」	高岡 健(児童精神科医)
9月28日(日)	テーマ② 「ネット社会を浮遊する若者たち～消費型オタクと表現型オタク他～」	関 正樹(児童精神科医)
◆ソーシャルワーク講座・第11期 「精神医学のカルテ」		
5月11日(日)	テーマ③ 「現在(いま)、子どもの世界で生じていること」	芹沢 俊介(社会評論家)×藤井 東(塾講師)
	テーマ④ 「パニック障害や強迫性障害とその『治療』」	高岡 健(児童精神科医)
4月20日(日)	テーマ① 「統合失調症とその『治療』」	木村 一優(児童精神科医)
	テーマ② 「新しいうつ病に罹患しない生き方を探る」～自己責任論なんて怖くない?!～	石川 憲彦(児童精神科医)
◆ソーシャルワーク講座・第10期 「ひきこもり」		
4月13日(日)	テーマ① 「『こもる』ことをすすめる理由」～“子どもセンターパオ”の取組み～	多田 元(弁護士・子どもセンターパオ代表理事)
	テーマ② 「不登校・ひきこもりを解く」～<『治療論』><私の出会った子どもたち>～	高岡 健(児童精神科医)